

TS-F1740SII

INPUT 160W MAX.

カーステレオ用埋込型スピーカー 17 cmセパレート2ウェイ

TS-F1640SII

INPUT 160W MAX.

カーステレオ用埋込型スピーカー 16 cmセパレート2ウェイ

TS-F1040SII

INPUT 100W MAX.

カーステレオ用埋込型スピーカー 10 cmセパレート2ウェイ

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。また、お車への取付けは、販売店様にご相談ください。尚、車種、年式、グレードによって取付情報を確認する必要がありますので、適合車種の詳細については、販売店様にご相談ください。

- ・本スピーカー取付け後、取外した車両部品を逆の手順で取付けてください。
- ・この取扱説明書は、令和3年7月現在の調査情報に基づいています。車種によっては、それ以降に車両の追加や変更が行われる場合があります。その際、取付けの仕方が変わっている場合があります。
- ※本取付例は、運転席側を元にして説明しています。助手席側は、運転席側を参考にしてください。
- ※ドアや後席側面などは、雨水が回りこむことがあるため、必ず付属の防水パッキンを使用した取付けをお願いします。ウーファー部は防水仕様となっておりますが、車種によっては、別途防水対策が必要な場合があります。
- 特に、純正防水カバーを外す必要があるときは、現車に合わせて十分な防水対策を行ってください。
- ※インラインネットワークは防水仕様になっていないので、水のたまりやすい場所に設置してください。
- ※本製品の付属のインラインネットワークを使用せず、弊社メインユニット内蔵のデジタルネットワークや、その他のネットワークを使用して接続する場合、接続および操作方法を誤ると本製品が破損することがあります。ご注意ください。
- ※スピーカーを取付ける際、適合上は取付可能であっても、車両の個体差により取付け商品が車両側に干渉する場合があります。その場合は、別途内張り（グリル部の裏側など）の加工を行ってください。
- ※車種によっては商品の取付け後、内張りなどにビリ音が発生する場合があります。その場合は別途ビリ止め対策を行ってください。
- ※端子が車両に当たらない方向で取付けてください。
- ※ハイレゾ品質での音楽再生をより確かなものとするためには、プレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

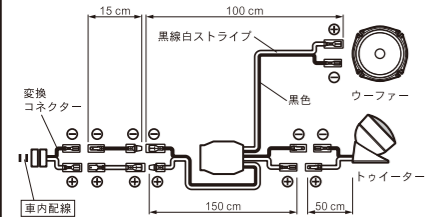
当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

●配線のご注意とお願い
スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性（+、-）を間違えて配線しますと、低音感の乏しい音になります。

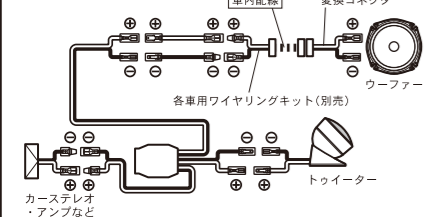
接続方法

TS-F1740SII

●配線図
1. ドア側でトゥイーター用配線（ネットワーク）を分岐する場合

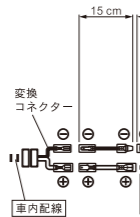


2. メインユニット側でトゥイーター用配線（ネットワーク）を分岐する場合

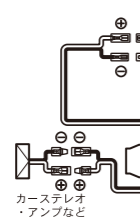


TS-F1640SII

●配線図
1. ドア側でトゥイーター用配線（ネットワーク）を分岐する場合



2. メインユニット側でトゥイーター用配線（ネットワーク）を分岐する場合

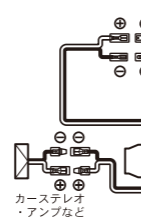


TS-F1040SII

●配線図
1. ドア側でトゥイーター用配線（ネットワーク）を分岐する場合



2. メインユニット側でトゥイーター用配線（ネットワーク）を分岐する場合



ウーファー部（コネクター接続）

TS-F1740SII / TS-F1640SII

[車両コネクター形状一覧]

A	B	C	D
主にホンダ車	主にトヨタ/三菱車	主に日産車	主にスズキ/ダイハツ車

[車両コネクター形状がAの場合]
変換コネクター⑫⑬と車両コネクターを接続してください。クッション⑭を使用してコードの余長をたばねることもできます。

[車両コネクター形状がBの場合]
接続アダプター⑬⑭のツメをはめてください。

[車両コネクター形状がC、Dの場合]
接続アダプター⑬⑭のツメを切取ってください。

変換コネクター⑫⑬に接続アダプター⑬⑭をはめて、車両コネクターと接続してください。

クッション⑭を、接続部に巻いてください。

[三菱車で車両コネクター形状がDの場合]
接続（変換コネクター⑫⑬、接続アダプター⑬⑭使用）時、本商品のみ極性が逆になりますので、必要に応じて配線加工を行ってください。

[車両コネクター形状がA~D以外の場合]
極性に注意して配線加工を行ってください。

[マツダ車の例]
車両コネクターが4P端子の場合は、アンプからの配線（内側の2本）を使用して配線加工を行ってください。

ジャンパーコネクター使用方法（TS-F1740SIIのみ付属）
純正トゥイーターを外すとドアスピーカー一部に信号が流れなくなる車種があります。その場合は、純正トゥイーター用コネクターをバイパスさせる配線加工が必要となります。車種によっては、ジャンパーコネクター⑮を使用することで純正トゥイーター用コネクターをバイパスできる場合があります。

純正トゥイーターを外し、ジャンパーコネクター⑮を接続してください。

純正トゥイーター取外し手順は取扱裏面に記載しておりますので取外しの際は取扱裏面も必ずお読みください。

TS-F1040SII ●接続方法
[付属コード対応車両コネクター]

[図示車両コネクター形状で三菱車以外の場合]
変換コネクター⑮を図のように車両コネクターに接続してください。

[三菱車の場合]
変換コネクター⑮を図のように車両コネクターに接続してください。

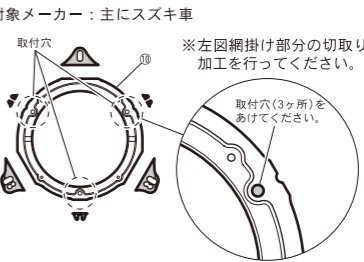
[車両コネクター形状が上記以外の場合]
極性に注意して配線加工を行ってください。

ウーファー部（取付手順）

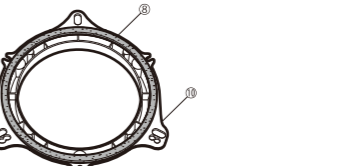
[爪部を使用して取付ける場合]
対象車種：デミオ（H19/7~H26/9）



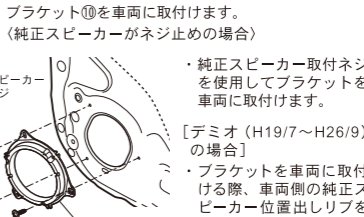
[取付穴をあけて取付ける場合]
対象メーカー：主にスズキ車



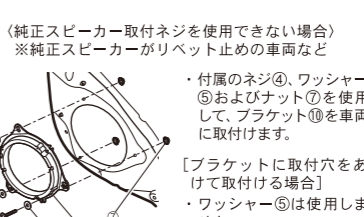
[スズキ車の場合]
純正スピーカーを取外した際に、車両側に樹脂製グロメットが残りますので、グロメットを取外してください。一部のスズキ車でグロメットがない車種もあります。



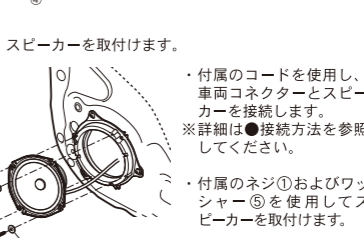
2-b リベット止めの場合



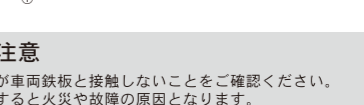
2-c ネジ+はめ込み固定の場合
対象メーカー：主にホンダ車



3-a ブラケット⑩を使用する場合
対象メーカー：主にトヨタ/日産/マツダ/スズキ車



3-b プラケット⑩を使用する場合（TS-F1740SIIのみ付属）
対象メーカー：主にホンダ車



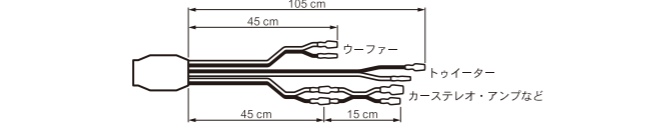
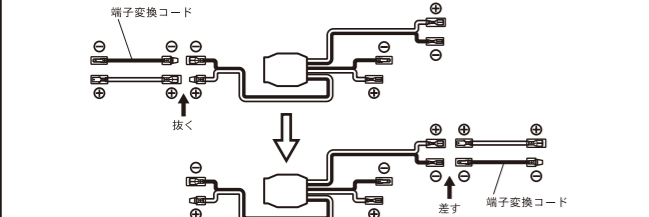
3-c 付属のブラケットを使用しないで取付ける場合



ネットワーク部

TS-F1740SII / TS-F1640SII / TS-F1040SII

メインユニット側でトゥイーター用配線を分岐する場合は、ネットワークコードに接続されている、端子変換コードを差し替えてください。



注意 接続部の端子が絶縁カバーで覆われていることを確認し、カバーが外れないようテープなどを巻いて固定してください。端子が車両の金属部に接触すると、火災や故障の原因となります。



付属品（ウーファー、ネットワーク用）

- TS-F1740SII**
- ① φ4mm×12mm ×8
 - ② φ4mm×20mm ×4
 - ③ φ5mm×12mm ×8
 - ④ M5mm×20mm ×6
 - ⑤ φ12mm×φ5.5mm ×14
 - ⑥ φ16mm×φ5.5mm ×8
 - ⑦ ナットM5mm用 ×6
 - ⑧ 防振パッキン ×2
 - ⑨ クッション（接続アダプター用） ×2
 - ⑩ ウーファー用ブラケット-1（トヨタ/日産/スズキ/マツダ車用） ×2
 - ⑪ ウーファー用ブラケット-2（ホンダ車用） ×2
 - ⑫ 変換コネクター（灰色カバー） ×2
 - ⑬ 接続アダプター ×2
 - ⑭ ジャンパーコネクター ×2
 - ⑮ ネットワーク ×2
 - ⑯ ロックタイ ×4
 - ⑰ クッション ×1

- TS-F1640SII**
- ① φ6mm×12mm ×6
 - ② φ4mm×14mm ×8
 - ③ M4mm×6mm ×6
 - ④ φ5mm×10mm ×8
 - ⑤ φ12mm×φ4.5mm ×8
 - ⑥ φ13mm×φ6mm ×12
 - ⑦ 変換コネクター（灰色カバー） ×2
 - ⑧ 接続アダプター ×2
 - ⑨ クッション（接続アダプター用） ×2
 - ⑩ 防振パッキン ×1
 - ⑪ ネットワーク ×2
 - ⑫ クッション ×1
 - ⑬ ロックタイ ×4

- TS-F1040SII**
- ① φ4mm×14mm ×4
 - ② φ5mm×16mm ×4
 - ③ コの字金具 ×4
 - ④ φ10mm×4.5mm ×4
 - ⑤ 変換コネクター ×2
 - ⑥ 防振パッキン ×1
 - ⑦ ネットワーク ×2
 - ⑧ クッション ×1
 - ⑨ ロックタイ ×4

注意 端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。接触すると火災や故障の原因となります。

3-c 付属のブラケットを使用しないで取付ける場合
・付属のコードを使用し、車両コネクターとスピーカーを接続します。
※詳細は●接続方法を参照してください。

・純正スピーカー取付ネジまたは、付属のネジおよびワッシャー⑤を使用してスピーカーを取付けます。
※車両側のスピーカー取付穴がスピーカーの外側になり、ネジ頭のかかりが小さくなる場合は、付属のワッシャー⑥を使用してください。

注意 端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。接触すると火災や故障の原因となります。

4. 内張りを元通りに取付けます。
取外しと逆の手順で取付けます。

5. 取付終了後、スピーカーから音が出ること、およびパワーウィンドウやドアロックなどが正常に動作することを必ず確認してください。

●車種別内張り取外し手順

車両の内張り取外し手順については「カロッツェリア車種別 JUST FIT Web版 (PC/スマートフォン用)」にて詳細情報をご確認ください。
URL: <https://pioneer.jp/ja/carrozzeria/support/justfit/>



ウーファー部 (取付手順)

TS-F1640SⅡ
●取付前の準備
スピーカーの裏面に付属の防振パッキン⑩を貼付けます。

●取付手順
1.内張りの取外し
●車種別内張り取外し手順を参照してください。

2.純正スピーカーの取外し
純正スピーカー取付ネジおよび配線コネクタを外して、純正スピーカーを取外します。

3.スピーカーの取付け
●付属のコードを使用し、車両とスピーカーを接続します。
※詳細は●接続方法を参照してください。
純正スピーカー取付ネジ、または付属ネジおよびワッシャーを使用し、スピーカーを車両に取付けます。

⚠注意
端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。接触すると火災や故障の原因となります。

4.内張りを元通りに取付けます。
取付方法は、取外しと逆の手順で行います。

5.取付終了後、スピーカーから音が出ること、およびパワーウィンドウやドアロックなどが正常に動作することを必ず確認してください。

TS-F1040SⅡ

●取付手順
1.内張りの取外し
●車種別内張り取外し手順を参照してください。

2.純正スピーカーの取外し
純正スピーカー取付ネジおよび配線コネクタを外して、純正スピーカーを取外します。

3.スピーカーの取付け (トヨタ車の場合)
●付属のコードを使用し、車両とスピーカーを接続します。
※詳細は●接続方法を参照してください。
(トヨタ車以外の場合)
●トヨタ車以外の場合は、防振パッキン⑩をスピーカー取付部に貼付けてください。
純正スピーカー取付ネジ、または付属ネジおよびワッシャーを使用し、スピーカーを車両に取付けます。

⚠注意
端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。接触すると火災や故障の原因となります。

4.内張りを元通りに取付けます。
取付方法は、取外しと逆の手順で行います。

5.取付終了後、スピーカーから音が出ること、およびパワーウィンドウやドアロックなどが正常に動作することを必ず確認してください。

ネットワーク部

●ネットワークの固定方法および配線処理方法
ネットワークやコードの余長はロックタイ(F1740SⅡ⑩、F1640SⅡ⑬、F1040SⅡ⑨)で車両の純正ハネスなどに固定してください。その際、ドアガラスなど、車の可動部分に接触しない場所に設置してください。ネットワークは防水仕様になっており、水で濡れると水のかからない場所に設置してください。

トゥイーター部 (取付手順)

●取付方法 TS-F1740SⅡ / TS-F1640SⅡ / TS-F1040SⅡ
※取付ける位置の湿気、ホコリ、汚れ、油分などを取除いてください。
●取付方法A 使用付属品⑪⑫⑬⑭⑮
スぺーサーを使用して取付ける方法
※トゥイーターの角度は上下のみに調整が可能です。
トゥイーターの角度を調整する際は、⑬部をしっかりと手で押さえてください。
※トゥイーターを左右に動かさないでください。故障や破損の原因となります。
※スぺーサーを使用する場合は、トゥイーターの角度を調整する際にコードが引っ張られるため、コードがつっぱって断線する恐れがあります。コードに余裕を持たせてください。

1.トゥイーターの取付位置を決めたら、個装ケース蓋より切り抜いた型紙Aを使用し、音を出したい方向に矢印を合わせ、四角(a)と丸2箇所(b、c)にマーキングをします。
丸(c)は、2ヶ所あけ加工作業がしやすいどちらか一方を選択し、マーキングしてください。

2.四角(a)と丸(b)の2箇所のマーキング通りに穴を開けます。また、丸(c)の選択した側にネジ⑮用の下穴を開けます。

3.取付金具⑪の△マークを音を出したい方向に合わせます。コの字金具⑫を内装にはさみ込み、丸穴に合わせて取付金具⑪をクッション⑭で貼付け、ネジ⑮・ネジ⑯で止めます。

4.スぺーサー下部の凸部に取付金具⑫のツメを合わせ回し止めます。

●取付方法B 使用付属品⑪⑫⑬⑭⑮⑯
スぺーサーを使用しないで取付ける方法
1.スぺーサーの⑰部を持ち、スぺーサーを奥側へ。トゥイーター部の carrozzeriaの文字がある部分は手前側へ回して外します。

2.トゥイーターの取付位置を決めたら、個装ケース蓋より切り抜いた型紙Bを使用し、四角(a)と丸2箇所(b、c)にマーキングをします。丸(c)は、3ヶ所あけ加工作業がしやすいどちらか一方を選択し、マーキングしてください。

3.四角(a)と丸(b)の2箇所のマーキング通りに穴を開けます。また、丸(c)の選択した側にネジ⑮用の下穴を開けます。

4.コの字金具⑫を内装にはさみ込み、丸穴に合わせて取付金具⑫をクッション⑭で貼付け、ネジ⑮・ネジ⑯で止めます。

5.トゥイーター下部の凸部に取付金具⑫のツメを合わせ回し止めます。

ツイーター部 (取付手順)

●取付方法C (TS-F1740SⅡのみ付属)
純正位置に取付ける方法
※車種によっては純正ツイーター位置に交換取付けすることができます。詳しくは個装箱底面の適合車種表をご確認ください。
※ホルダーおよび付属のブラケットからツイーターを脱着する際は、ツイーターの振動板に触れないようにしてください。異音や故障の原因となることがあります。

1.ツイーターにブラケット⑳を取付けます。
・ツイーターとブラケットの溝の位置を合わせてツメをはめ込みます。

2.ブラケットの表面にクッション㉑を貼付けます。

3.ツイーターにブラケット⑳を取付けます。
・ツイーター裏面の△マークをブラケット㉑の△マークに合わせてはめ込み、右方向に回転させて固定します。

4.ツイーターにブラケット⑳を取付けます。
・ツイーター裏面の△マークをブラケット㉑の△マークに合わせてはめ込み、右方向に回転させて固定します。

C-1 トヨタ車の場合
●樹脂カバーなどの純正ツイーター取付部のツメを使用してツイーターを取付けます。

C-2 ホンダ車の場合
●樹脂カバーなどの純正ツイーター取付用穴(3ヶ所)を使用してツイーターを取付けます。

C-3 三菱車の場合
●純正ツイーター用ブラケットにツイーターを裏側から取付け、樹脂カバーなどに固定します。

C-4 スズキ車の場合
※ランディ(H212/12~H28/8)は「C-5」を参照してください。
●ブラケットのカットを行います。

C-5 日産車の場合
●樹脂カバーなどの純正ツイーター取付部に、ツイーターを取付けます。
※ブラケットには複数の取付用の穴を設けていますが、車両側の樹脂カバーに合わせて使用する穴を選択してください。

- 付属品 (トゥイーター用)**
- ⑪ 取付金具 (スぺーサー固定用) 外径小 ×2
 - ⑫ 取付金具 (トゥイーターユニット固定用) 外径大 ×2
 - ⑬ クッション 薄手 ×2
 - ⑭ クッション 厚手・袋入り ×2
 - ⑮ φ4mm×14mm ×2
 - ⑯ φ3mm×7mm 低弾ネジ ×2
 - ⑰ コの字金具 ×2
 - ⑱ トゥイーター用ブラケット-1 (トヨタ/ホンダ/三菱用) (TS-F1740SⅡのみ付属) ×2
 - ⑲ トゥイーター用ブラケット-2 (スズキ/日産用) (TS-F1740SⅡのみ付属) ×2
 - ⑳ クッション (TS-F1740SⅡのみ付属) ×2

純正ツイーター取外し手順

トヨタプリウス(H21/5~H27/12)/プリウスPHV(H24/1~H29/2)/プリウスα(H23/5~R3/3)
⚠警告 「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
●ツイーターを装着するには、エアバッグが実装されているAピラートリム部分の取外し、取付けが必要となります。また、Aピラートリムの装着にはエアバッグ作動時の飛散防止のため、特殊なクリップが使用されています。このため、Aピラートリムの取外し、取付けには専門知識が必要ですので、取付業者またはカーディーラーなどでの作業が必要となります。

取外し手順(図は助手席側の説明です。運転席側は対称になります。)
■ウェザーストリップを外します。

⚠注意 作業中に取外したパーツのとがった部分や車両鉄板のバリなどでケガをしないよう十分にご注意ください。手袋の装着を推奨します。
■Aピラートリムを外します。
トリムのクリップ類の勘合を外し、飛散防止用クリップがトリムに引っかかった状態にします。

●飛散防止用クリップの取外し(取付け)方法
・Aタイプの場合
＜取外し＞
保護テープを巻いたラジオペンチを使用してクリップを90°回し、トリムの角穴から抜きます。
・Bタイプの場合
＜取外し＞
クリップの両サイドのツマミを押しながらピラーから抜きます。
※クリップはトリム側にぶら下がる形になります。

●飛散防止用クリップの取外し(取付け)方法
＜取付け＞
トリムを元に戻す場合は、飛散防止用クリップをトリムにはめ込んでからピラーに勘合させます。クリップはトリムの凸部に乗り上げないようにして取付けてください。

⚠注意 飛散防止用のクリップは取付手順を参考に確実に復元させてください。クリップやトリムが正しく復元されていない場合は、エアバッグ展開時にトリムが外れてケガをする恐れがあります。
⚠注意 作業時はクリップやその他車両のパーツを傷つけないようご注意ください。
●飛散防止用クリップにダメージがある場合や破損した場合は必ず新品に交換してください。

●アフターサービスについて
1.保証書について
ご購入時には保証書にお買い求めの販売店の捺印、住所、購入年月日が記入されていることをお確かめのうえ、(車検入れなどに入れて)大切に保管してください。保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したときには保証期間中でも保証が無効となりますのでご注意ください。カーナビの保証期間はお買い上げ後1年間となっております。なお、当社はこのカーナビの補修用性能部品を製造引切後、最低6年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
2.アフターサービスについて
万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。ご購入後の商品の修理・お取扱い(取付け・組合わせなど)のご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理受付窓口にご相談ください。保証期間経過後の修理につきましては、お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品につきましては、ご希望により有料で修理いたします。なお、本製品は持込み商品のため出張修理は承っておりません。引取り修理サービスをご利用ください。(お車から取外していただいた状態での引取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)弊社修理拠点へのお持ち込みは、商品をお車から取外した状態で承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、および脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店様、または取付店様にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口
修理受付窓口 受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご覧ください。
●修理受付サイト
https://pioneer.jp/rd/support/purpose/repair/

●商品についてのご相談窓口
●商品のご購入や取扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について
カスタマーサポートセンター ※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご利用ください。
●お客様サポートサイト
https://pioneer.jp/rd/support/

●電話【固定電話から】 0120-9-81028 (無料)
【携帯電話・PHSから】 050-3820-7550 (IP電話・有料)
または 0570-037-610 (ナビダイヤル・有料)
●ファックス 0120-5-81029 (無料)

●電話【カーオーディオ/カーナビゲーション商品】 ※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください。
【固定電話から】 0120-944-111 (無料)
【携帯電話・PHSから】 050-3820-7540 (IP電話・有料)
または 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)
●ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

＜各窓口へお問い合わせ時のご注意＞「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHSの一部のIP電話などからは、ご利用いただけません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)正確なご相談対応のために繰り返しお電話をさせていただくことがございますので、発信番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。
令和2年10月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

お客様登録のお願い
商品をご購入いただいたお客様には、お客様登録・商品登録をお願いしております。パソコンやスマートフォンからインターネットにアクセスいただき、ハイオニアホームページ「オーナーズリンク」にて登録手続きをお願いいたします。
https://car-users.pioneer.jp/